

岡部研究室

〔未来材料：チタン・レアメタル〕

生産技術研究所 持続型エネルギー・材料統合研究センター

Integrated Research Center for Sustainable Energy and Materials

マテリアル工学専攻

循環資源工学・レアメタルプロセス工学

<http://okabe.iis.u-tokyo.ac.jp>

レアメタルを“コモンメタル”に!!

岡部研究室では、「未来材料：チタン・レアメタル」をキーワードに、レアメタルの新しい製錬プロセス、および廃棄物中のレアメタルの環境調和型リサイクルプロセスの研究開発に取り組んでいます。レアメタルのプロセス技術のイノベーションを目指し、社会に貢献していきます。

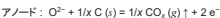
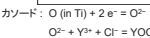
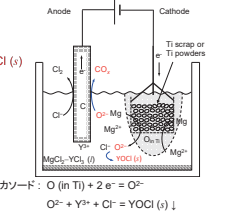
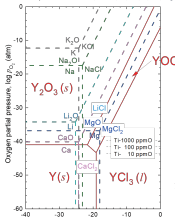
Ti のアップグレードリサイクル

航空宇宙産業 → 高比強度
ボーイング787では、機体重量の約14%をチタンが占める。

海上構造物 高耐食性
羽田空港D滑走路には、1000トンのチタンが使用されている。

Ti イングットの加工工程で発生する Ti スクラップは、高濃度の酸素系純物に汚染されており、イングットへのリサイクルが困難です。

M-Cr-O systems at 1300 K, M = Y, U, Na, K, Ca, Mg



イットリウム (Y) やホルミウム (Ho) などの希土金属を用いて、Ti スクラップから酸素を効率的に除去し、鉱石からの一次生産品よりも純度の高い Ti に「アップグレードリサイクル」する新しいプロセスを開発しました。

極低酸素 Ti 焼結体製造プロセス

将来、本プロセスを用いることで、低価格の Ti 粉末から低酸素濃度で高品質な Ti 製品を効率的に製造できると期待できます。

貴金属のリサイクル技術

白金族金属 (PGMs)



自動車用触媒
白金 (Pt), パラジウム (Pd), ロジウム (Rh) の主な用途

金 (Au)



天然資源に対して、自動車用触媒には白金族金属が1000倍もの濃度で、PCBスクラップには金が10倍もの濃度で存在しています (都市鉱山)。

PGMs (M) 触媒層 (Au, Pt, Pd, Rh) 基板

熱処理 (M-R, R) 蒸気や水溶液による処理

物理選別 (磁気選別, 浮遊選別, 渦電流選別)

合金化やめっき

Conventional recycling route of PGMs and Au: Collection of spent catalyst or WPCBs, Transport by land and/or sea, Extraction/refining at refinery. Time: <1%.

Expected route: Physical concentration at scrap collecting sites, Extraction/refining at refinery, Transport by air. Time: <1%.

無電解めっき処理やFeCl₃蒸気による化学処理によって、スクラップ中の貴金属が含まれる箇所に選択的に磁性を付与し、磁気選別技術を用いて容易に貴金属を濃縮可能な技術を開発しています。従来スクラップの集荷地から製錬所まで海路や陸路で輸送していたところを、本技術によって、空路での輸送を可能とすることで時間的コストの大幅削減を図ります。これにより、世界中からスクラップが日本に集まり処理される新しいビジネススキームの構築が期待されます。

Auを含むスクラップ

ナトリウム (Na)

Naと合金化 (Na-Au)

溶融塩に溶解 (Na⁺ + Au⁺)

溶融塩

Na

Na⁺ Au⁺

Au

電解

ナトリウム (Na)

Na

Auを含むスクラップとNaの合金

カソード： $nNa^+ + ne^- = nNa$
アノード： $Au^+ = Au + n e^-$

- ☆ Na 消費ゼロ
- ☆ 排ガゼロ
- ☆ 廃液ゼロ

Au を Na などの活性金属と合金化させると、溶融塩中に Au が陰イオン (アノイオン) として溶解します。この現象と溶融塩電解を組み合わせた「アノード電析」を用いて、スクラップから Au を選択的に分離・回収できることを実証しました。